

## 多重債務者相談受付状況(平成28年度下期)

北海道財務局「多重債務者相談窓口」が平成28年度下期(28年10月～29年3月)に受付けた相談件数は、上期(28年4月～28年9月:196件)よりも28件(14.3%)減少し、168件となりました。

また、平成28年度通期の受付件数は364件で、前年度(27年度:358件)とほぼ同数となっています。

### 【概要】

- 平成28年度下期における多重債務者相談の受付件数は168件で、上期よりも28件(14.3%)減少し、168件となりました。
- 相談のきっかけは、「公的機関からの紹介」が61%(103件)と最も多くなっています。
- 性別では男性が63%(106件)、女性が36%(61件)となっており、ここ数年、傾向は変わりません。
- 年齢別では、60代以上の割合が上昇し、全体の4分の1(43件、26%)を占めています。
- 職業別では、給与所得者が49%(83件)と全体の約半数を占めており、次いで無職が33%(56件)となっています。
- 世帯収入では、200万円未満が37%(62件)と相談者全体の1/3を占めています。  
また、借入のきっかけとしては、低収入・収入減少が35%(58件)と最も多くなっています。
- 負債状況では、200万円未満が全体の41%(70件)を占めています。
- 相談内容では、8割以上(142件、85%)が多重債務(債務整理)の相談で、ヤミ金に関する相談は4%(6件)でした。

### 【相談者への当局の対応】

- 多重債務についての相談には、相談者の状況を聴き取り、債務整理の4つの方法(任意整理、特定調停、個人版民事再生、自己破産)及びそのメリット、デメリットを分かり易く説明しています。
- 168件の相談のうち、法的な対応が適切と判断した114件の相談については、法テラス、弁護士会、司法書士会を紹介しています。
- なお、収入に応じた生活をする事で改善が図られると思われる相談者には「家計管理」のアドバイスを、また、精神的に苦しんでいる相談者には「こころの相談センター」などの紹介も行っています。

○北海道財務局では、専門の相談員が「借金の悩み」を親身になってお聴きし、相談者にあつた解決方法を提案します。

借金でお悩みの方は、ぜひご相談ください。

(相談先) 北海道財務局「多重債務者相談窓口」(金融監督第三課)

○電話番号 : 011-807-5144

○受付時間 : 月曜日～金曜日(年末年始及び祝日を除く)

9時～12時、13時～17時

札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎 11階

## 【相談事例】

□事例1 <任意整理>メンタル不調で働けず、税金等を滞納（30代、女性、会社員）

➤ 負債総額 300万円以下(クレジット、税金滞納)

➤ 相談者からの申出内容

- ・ここ数年はメンタル不調を抱え、無職の時期があり収入が不安定であった。
- ・今はメンタルクリニックに通院しながら仕事をしており、収入は安定してきた。
- ・無職の時期に税金の滞納、クレジットの債務を抱えた。
- ・請求書が送られてくるが、精神的に辛くて開封できない。どこから、いくら借りているかも覚えていない。
- ・郵便物は捨ててはならず、未開封のまま保管している。

➤ 当局の対応(助言内容)

- ・まずは債務額を把握することが必要と助言。請求書等を一人で開封するのは不安とのことで、未開封のまま窓口を持参されたため、請求書の開封等に立ち合った。
- ・クレジット債務の状況、税金等の滞納状況を把握する作業に適宜助言等を行った。
- ・税金滞納分の分割納付などについて説明のうえ、税務当局への連絡等を助言。
- ・クレジット債務にかかる任意整理等を説明のうえ、司法書士会への相談を助言。
- ・一人で電話をするのは不安とのことから、電話の取次ぎや補足説明を行った。

⇒ クレジット債務については、任意整理により分割払いしていくこととなった。

⇒ 税金についても、分割納付が認められ、生活に支障ない範囲で返済していく目途がたつた。

※ 今後も、返済に関して不安等があれば、一人で悩まずいつでも当局に相談できることを助言した。

□事例2 <自己破産>子の世帯への経済援助をしてきたがもう限界（70代、女性、年金受給）

➤ 負債総額 100万円以下(キャッシング、クレジット)

➤ 相談者からの申出内容

- ・数年前に配偶者と死別し、一人暮らし。
- ・子の世帯は経済的に苦しく、孫の教育費や習い事の用具購入などを支援するため、クレジットカードでのショッピングやキャッシングをくり返し利用するようになった。
- ・返済が滞り、クレジット会社から何度も督促が来て、「情報載せる」、「ほかのクレジットカードが使えなくなる」などと言われているが、意味が分からない。
- ・預金は底をついており、もう返済できない。頼れる身寄りもない。今後が不安で眠れない。

➤ 当局の対応(助言内容)

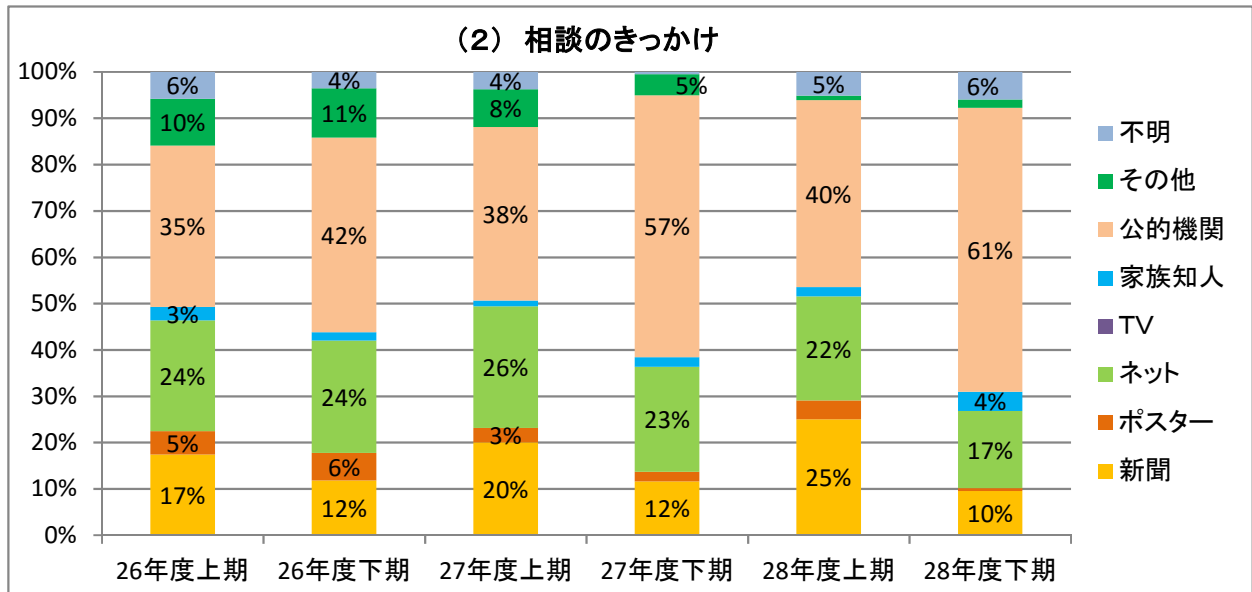
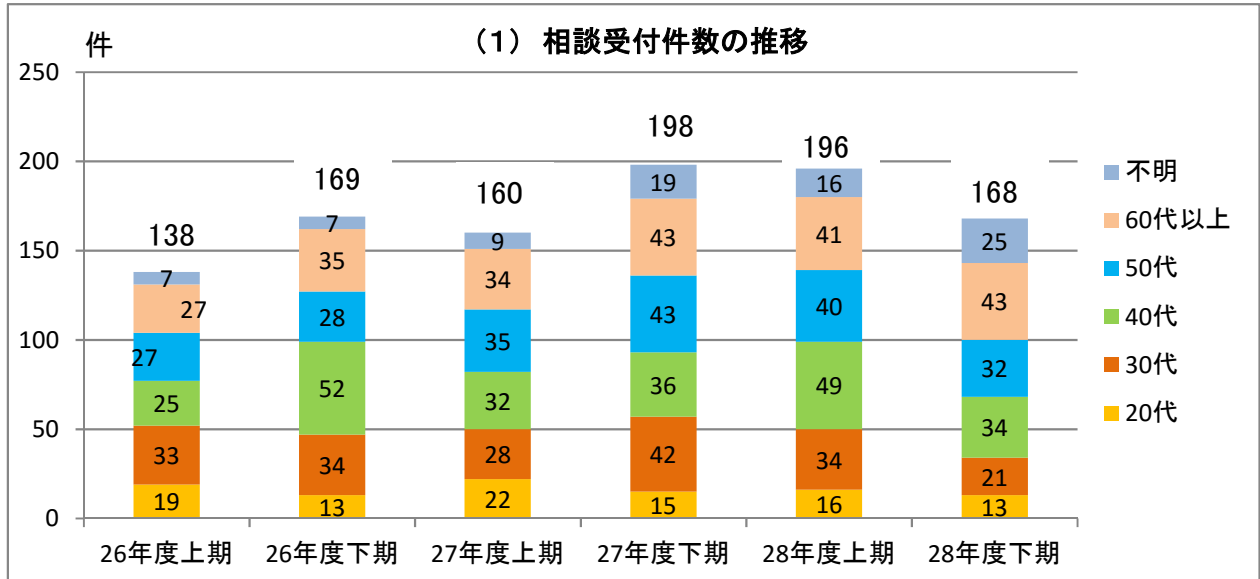
- ・クレジットカード会社の説明内容に不安を感じていた様子だったため、延滞による個人情報登録について概要を説明。
- ・今後の返済については、収入と債務額、返済者の年齢などを考慮して考える必要があることなどを助言し、任意整理、自己破産等の債務整理方法を簡潔に説明。
- ・法テラスの民事法律扶助制度を案内し、弁護士相談を行うよう助言。

⇒ 弁護士に依頼したことで精神的に落ち着き、眠れるようになった。

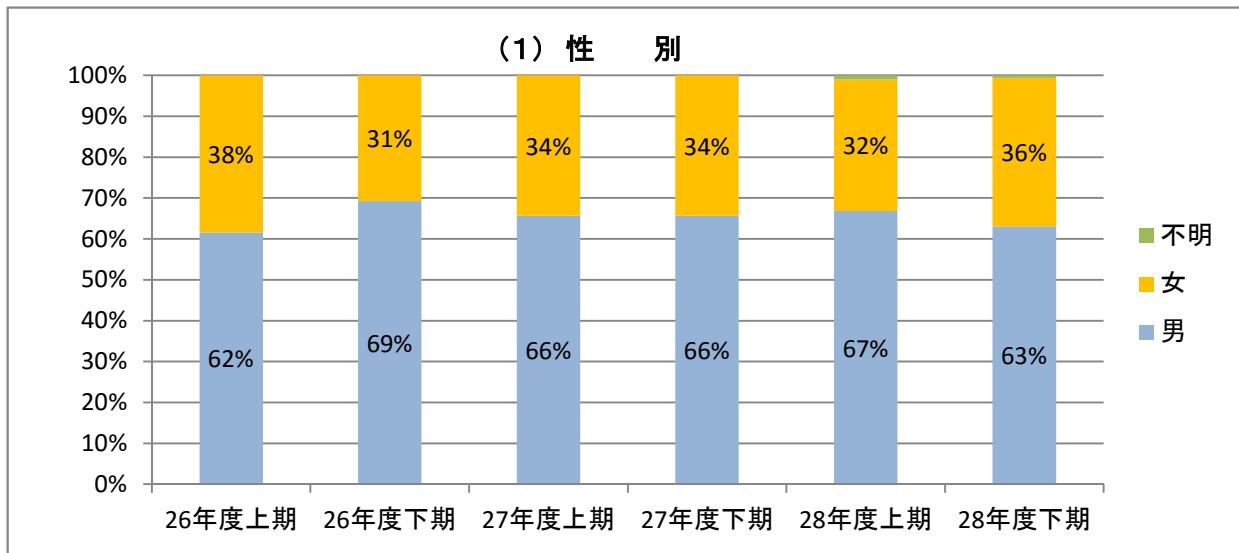
⇒ 債務額は高額ではないが、本人の年齢(高齢)を踏まえた生活再建のため、弁護士と相談のうえで自己破産を選択。

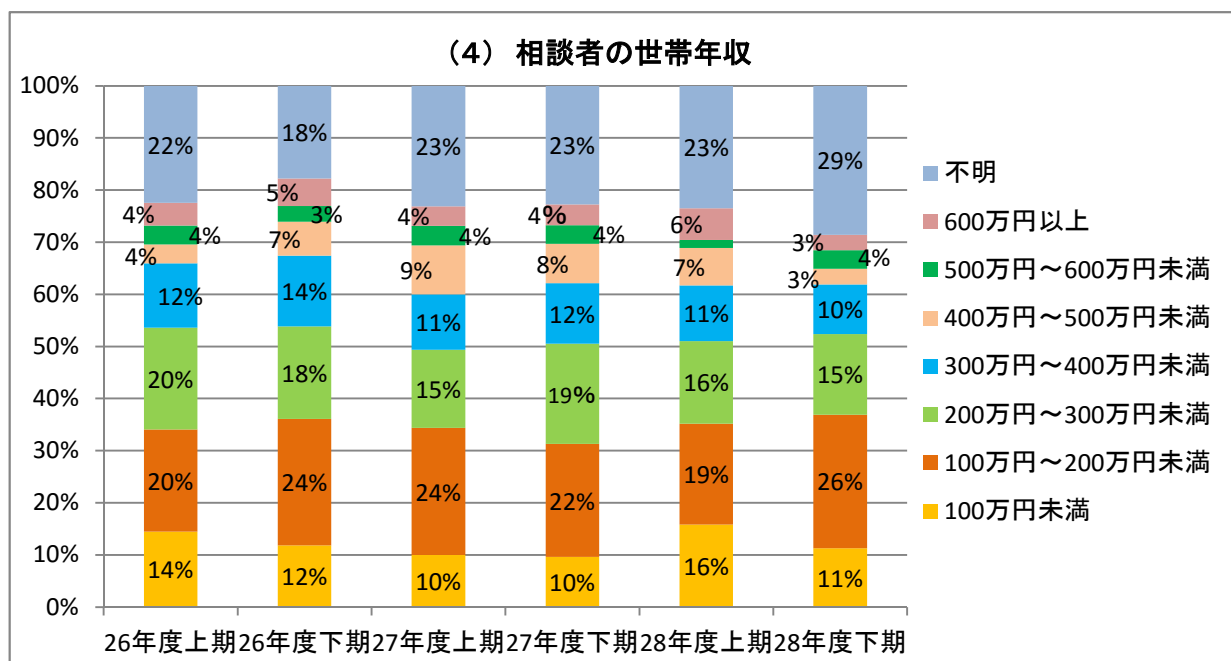
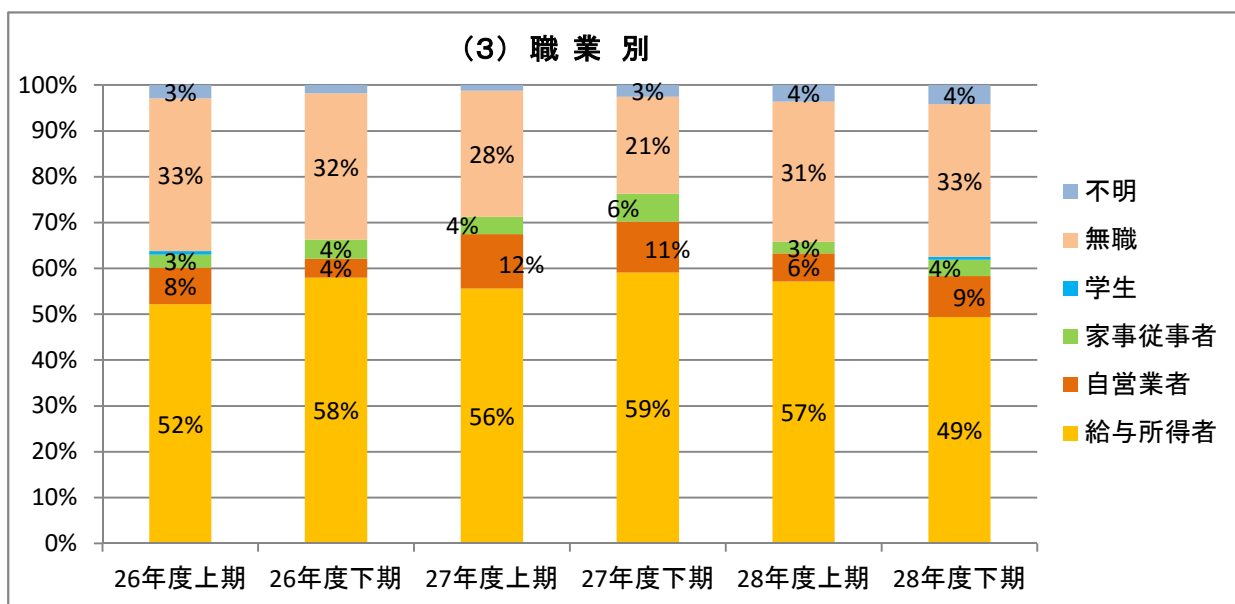
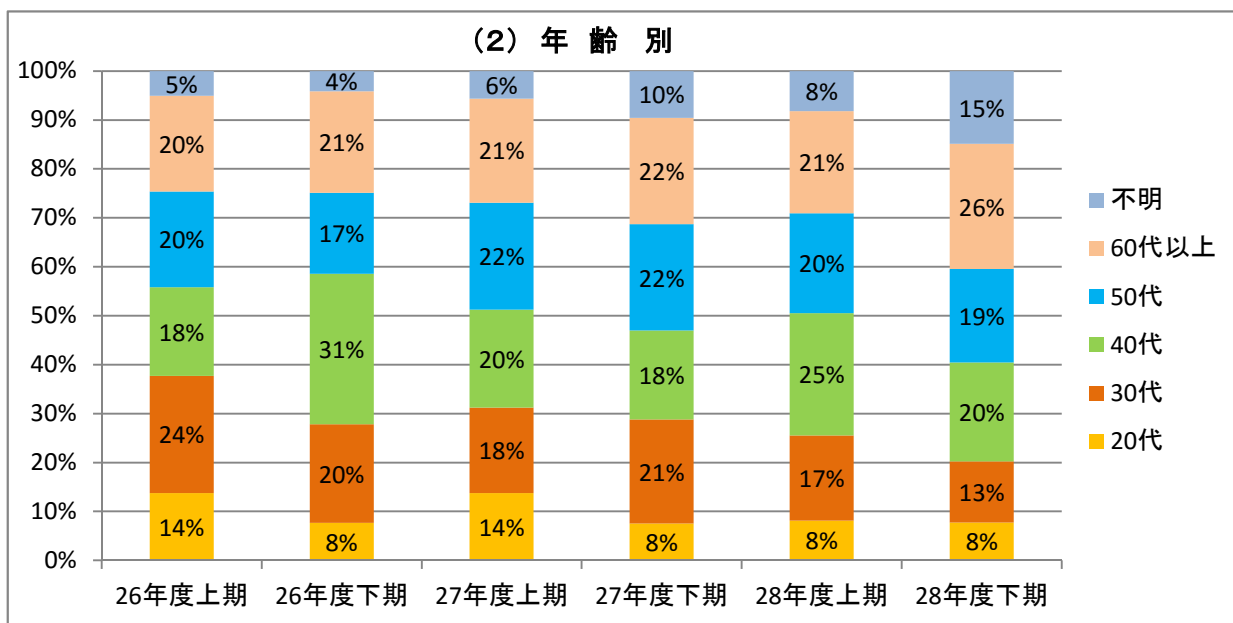
## 1. 相談受付件数

注1) 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。  
注2) 2%以下については見やすさを優先し、数値を表示していません。

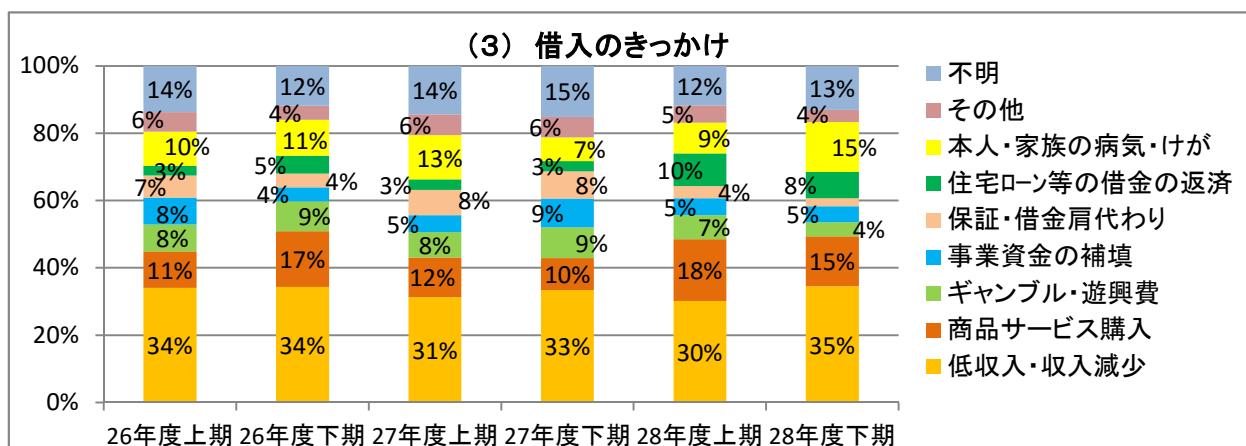
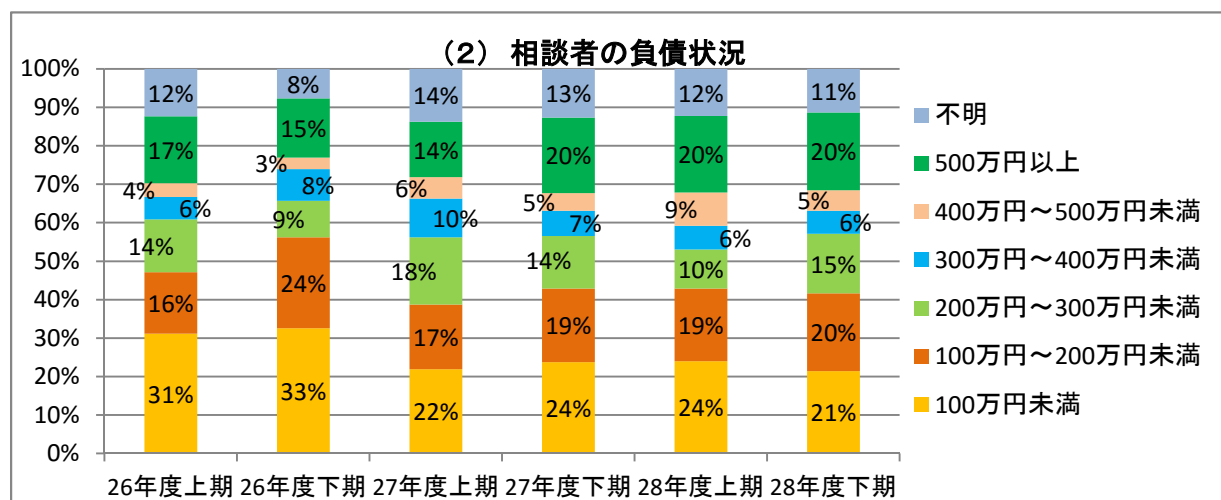
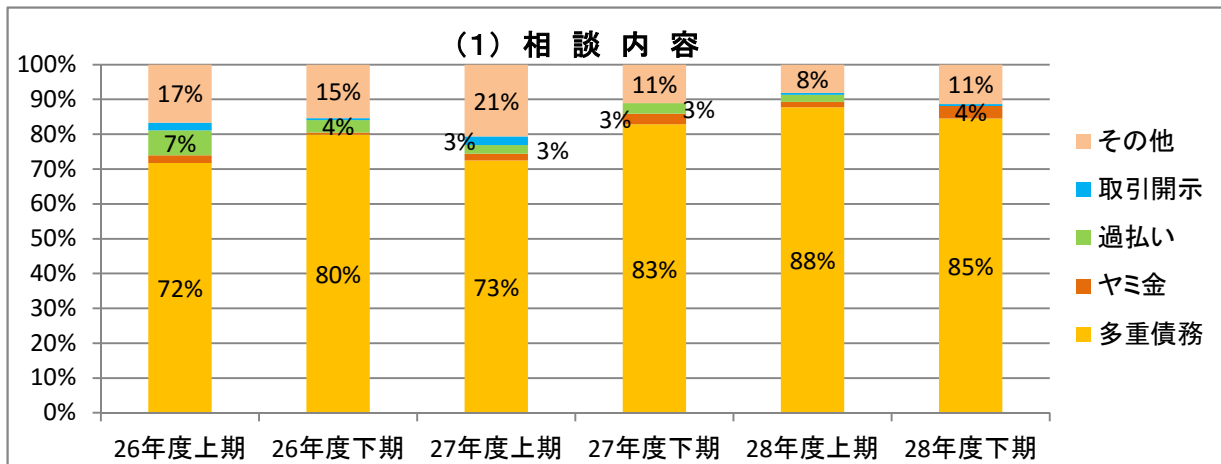


## 2. 相談者のプロフィール





### 3. 債務者の相談内容



### 4. 相談対応結果

